

要 望 書

平成30年5月24日

松戸市・野田市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市

東京2020オリンピック聖火リレーのルート選定に向けた要望について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、聖火リレーを通じて復興に力を尽くしている人に元気や力を届けるとともに、震災から10年目の日本の姿を発信していくとしています。

また、聖火リレー全日数114日間のうち、千葉県には3日間が設定され、その詳細なルート設定やランナーの人選については、各都道府県が実行委員会を立ち上げて検討するとされました。

これに対し、森田知事は、千葉の魅力や文化を世界に発信し、県民が誇りに感じられるよう、「オール千葉」で聖火リレーを盛り上げていきたいと、力強いコメントを発信しておられます。

東日本大震災では、千葉県でも多くの自治体が被災しました。私たち東葛飾地域の松戸市・野田市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市の6市においても、地震の揺れや液状化により、多くの建物が被害を受けるなど甚大な被害が生じました。しかし、各自治体とも力を尽くし、現在の姿にまで復興を成し遂げています。

そこで、「復興五輪」を掲げる東京2020大会の聖火リレーとして、世界に向けて、東葛飾地域を含むすべての被災自治体の復興を強くPRし、これまで復興に力を尽くしてきた県民に元気や力を届けるとともに、今後の日本を担う子どもたちが将来に夢や希望を持てるよう、以下の事項について要望します。

1. 聖火リレーの県内ルートについて、東葛飾地域の自治体すべてを通るルートとし、震災からの復興を世界にアピールすること。
2. 聖火リレーのルート選定やランナーの人選にあたっては、各自治体と十分に調整を行うこと。

平成30年5月24日

千葉県知事 森田 健作 様

松戸市長 本郷谷 健次

野田市長 鈴木 有

柏市長 秋山 浩保

流山市長 井崎 義治

我孫子市長 星野 順一郎

鎌ヶ谷市長 清水 聖士